

特定外来生物クリハラリスを見かけたら教えて下さい

東京都瑞穂町と埼玉県入間市では、2011 年に特定外来生物であるクリハラリス（別名：タイワンリス）の野生化が確認されました。これを受け、瑞穂町および入間市では研究者グループ（入間・瑞穂クリハラリス問題対策グループ）と協力し、防除に取り組んできました。

2017 年までに瑞穂町・入間市の両自治体で合計 70 頭以上を捕獲し、2018 年以降は未発見の個体が残っていないか、毎年モニタリングを続けています。

2025 年 4 月現在、再発見はありませんが、未発見の個体が残っていた場合、再び繁殖し、頭数が増加する可能性があります。万が一、クリハラリスと思われる動物を見かけた場合は、瑞穂町役場環境課（電話：042-557-0544、FAX：042-556-3401）までお知らせください。発見場所（住所や目印）、発見日時、動物の特徴（色・大きさ）、行動の様子などをお伝えいただきますようお願いいたします。

クリハラリス（入間市内）



特定外来生物とは？

「特定外来生物」とは、明治時代以降に日本に持ち込まれた外来生物（海外起源の外来種）のうち、生態系や人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼすもの、またはそのおそれがあるものとして、「外来生物法（特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律）」に基づき指定された生物を指します。

「特定外来生物」に指定された生物の取り扱いについては、飼養、栽培、保管、運搬、輸入、放出、譲渡などが禁止されるなど、厳しい規制が設けられています。

「外来生物法」についての詳細は、環境省ホームページ「日本の外来種対策」をご覧ください。

環境省「日本の外来種対策」

<https://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

日本のクリハラリス問題

クリハラリスは、中国南部や東南アジアから動物園での展示やペットとしての飼育を目的に日本へ持ち込まれました。その後、飼育されていた個体が逃げ出すなどして野生化し、現在では日本の広範囲（栃木県、茨城県、埼玉県、東京都、神奈川県、静岡県、岐阜県、大阪府、和歌山県、兵庫県、熊本県、長崎県、大分県など）で定着が確認されています。

クリハラリスが野生化・増加すると、日本固有のニホンリスや小鳥などの生息地を奪い、樹木の樹皮を剥いで枯らすなど、生態系に深刻な影響を及ぼします。また、人家への侵入や電線をかじるなどの生活環境への被害、農作物や植林木を食害する農林業被害も報告されています。

瑞穂町および入間市では、個体数が少ない段階で対策を講じたため、深刻な被害発生には至っていません。被害を未然に予防し、クリハラリスの犠牲を最小限に抑えるためにも、個体数が少ないうちに確実に根絶することが重要です。

クリハラリスの生息地点

クリハラリスの野生化が確認されたのは、瑞穂町二本木地区北部・栗原新田地区北部および、入間市金子地区南部・二本木地区西部の樹林地です。ただし、これまでに確認された生息地以外でも出現する可能性があるため、注意が必要です。

また、入間市北部の加治丘陵には日本在来種ニホンリスが生息しています。市街地に近接した緑地にニホンリスが生息していることは非常に貴重です。今後も、ニホンリスをはじめとする地域の自然を保全するため、外来生物対策を継続していく必要があります。



クリハラリスとニホンリスの見分け方

クリハラリス（特定外来生物）

ニホンリスよりひとまわり大きく、体重は 300～400g 程度です。

全身の毛は灰色で、季節による変化はなく、お腹の毛も同じく灰色です。

耳は小さく丸く、餌を食べるときにはしっぽを垂らしたままにしています。

「コキコキコキコキ」「ワンワンワン」「チーチーチー」などと大きな声で鳴くのが特徴です。

普段聞き慣れない鳴き声が聞こえた場合、クリハラリスが近くにいるかもしれません。



おなかの毛の色が 1 年中灰色であることがニホンリスと見分けるポイントになります。

ニホンリス（日本在来種）

日本の本州と四国にだけ生息する固有種（日本にだけ棲んでいる種）です。

体重は 250～300 g 程度で、おなかの毛は 1 年中白く、その他の部分の毛は夏には赤茶色、冬には灰色に変化します。冬毛の時期には耳の先端に房毛（ふさげ）が生えます。餌を食べるときはしっぽを背中に背負います。



夏毛 手や足が赤茶色に目立ちます。おなかの毛は白色です

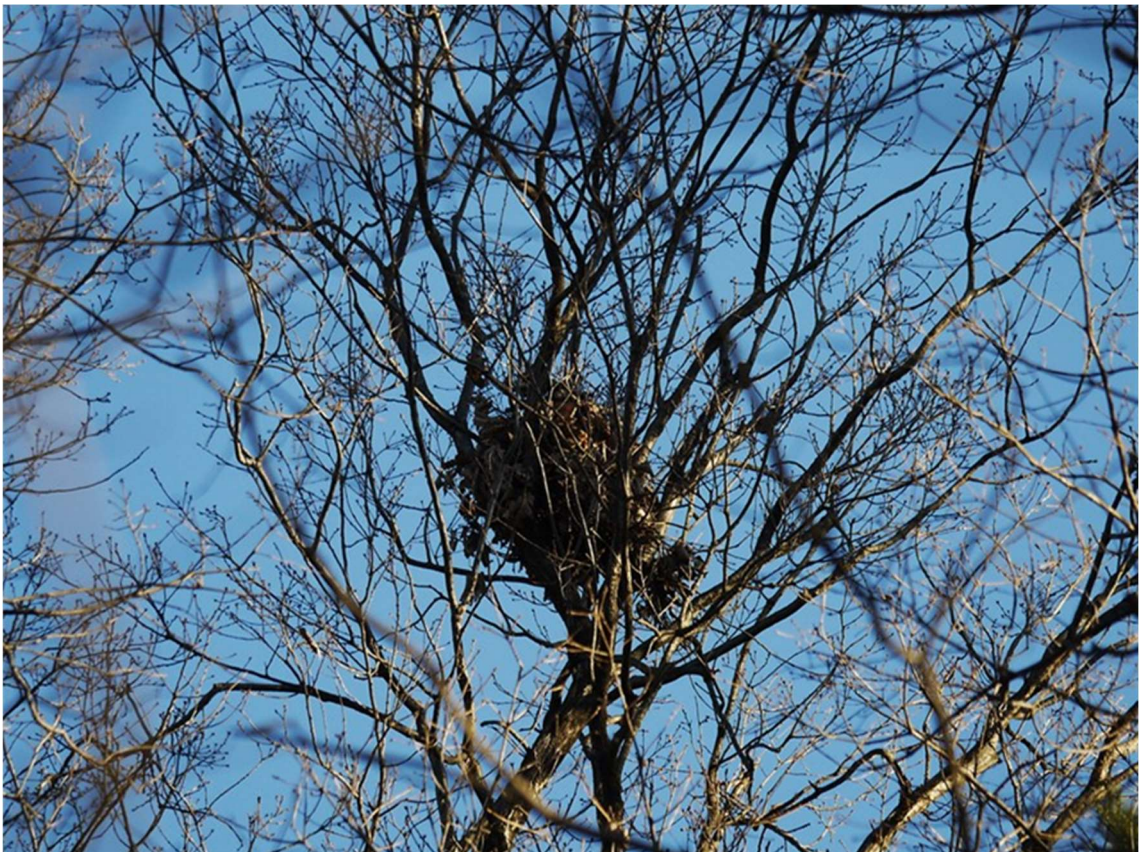


冬毛 耳の先端に長い房毛（ふさげ）が生えます。おなかの毛は白色です

クリハラリスの巣やかじり痕にも注意

クリハラリスは木の枝に鳥の巣によく似た巣を作ります。鳥の巣は木の小枝で作られていることが多くお椀型で上面が開いているのに対し、クリハラリスの巣は木の葉が丸められて作られておりボール状（球形）をしています。このような巣が見つかった場合には、クリハラリスのものである可能性があり注意が必要です。

また、クリハラリスはツバキ類などの樹木の樹液をなめるため、特徴的なかじり痕（環状剥皮と呼ばれます）を残します。写真のようなかじり痕を見つけた場合も、クリハラリスが生息している可能性がありますのでご注意ください。



クリハラリスの巣（樹上巣）



クリハラリスが樹皮をかじった痕跡（環状剥皮）